

経営比較分析表（平成28年度決算）

新潟県新潟市 新潟市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	35	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
800,112	58,109	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

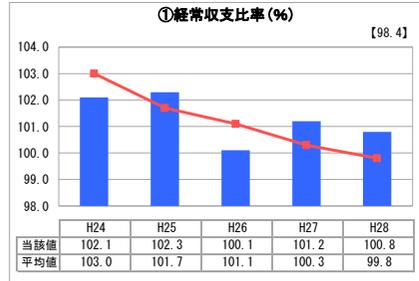
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
652	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
16	8	676
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
652	-	652

グラフ凡例

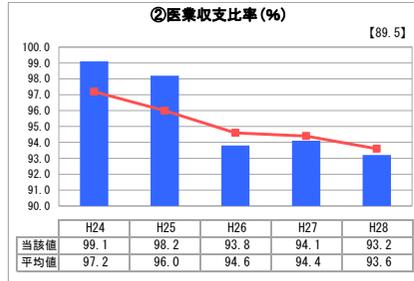
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成28年度全国平均

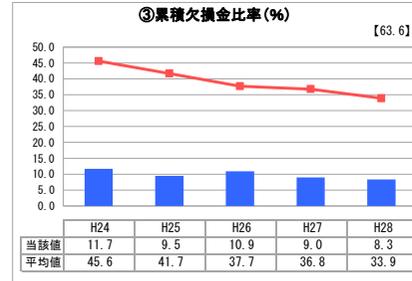
1. 経営の健全性・効率性



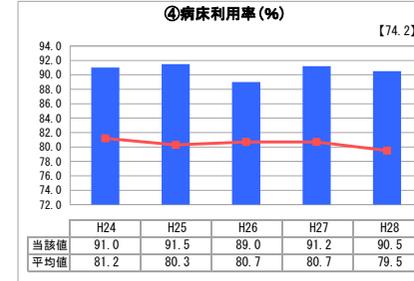
「経常損益」



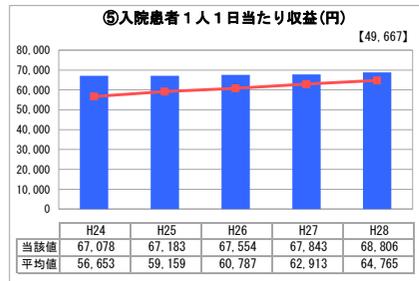
「医業損益」



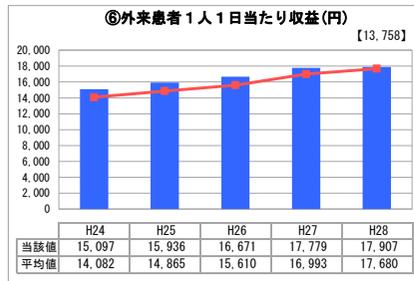
「累積欠損」



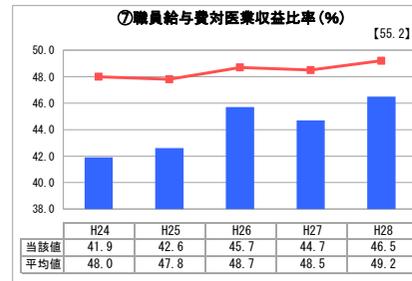
「施設の効率性」



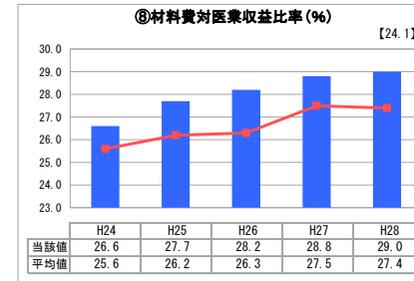
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

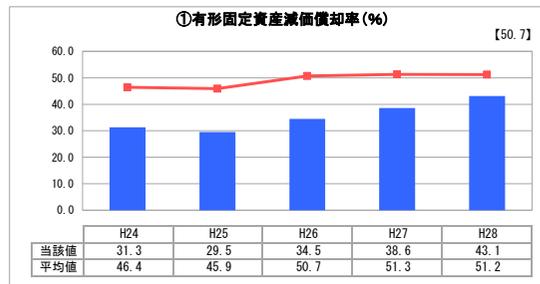


「費用の効率性①」

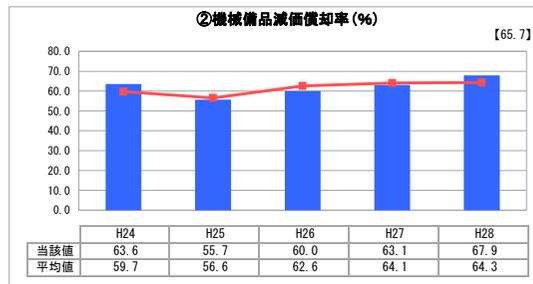


「費用の効率性②」

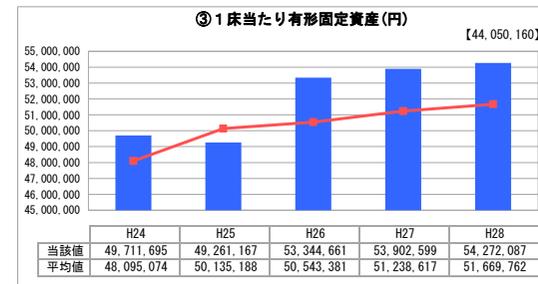
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として、医療圏内における重症・専門・救急医療を提供する役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度まで、経常収支の黒字は維持し、累積欠損比率も少しずつ改善している。90%程度の高い病床利用率と患者一人あたりの収益で確認できるように、収益の確保については良好であり、健全性も保ってきた。

一方、効率性については、特に平均値を超える材料費対医業収益比率に見るように、費用の増加が、医業収支比率の減少傾向に繋がっている。

そのことが現時点における喫緊の課題であることは認識しており、適正化を図り費用を抑制し、効率性を改善できるように努めている。

2. 老朽化の状況について

現在の病院は、新築移転しており、2-①が平均と比べて大きく下回っているのは、そのためと分析する。

しかし、移転後10年が経過し、当時整備した医療機器が老朽化していることは認識しており、2-②が平均値より高くなっているのは、その表れといえる。

今後は、健全性を維持しながら、老朽化した医療機器を計画的に整備しながら、当院の地域における役割を果たし続けていかなければならない。

なお、2-③について、平成26年度を機に平均と比べ大きく上回ったのは、平成25年度に精神科病棟などが入る新しい病棟を整備したこと、平成26年度には放射線治療に係る施設整備を行ったことが影響している。

全体総括

全体的には、100%を超える経常収支比率や、減少傾向にある累積欠損比率、高い病床利用率や患者一人あたり収益が示すとおり、経営の健全性は確保できていると考える。

しかし、材料費対医業収益比率に見るように、費用の抑制による効率性の向上は課題であり、それにより医業収支比率を改善することが、健全な経営を続けるためには重要である。また、今後は、健全な経営を維持しながらも、計画的に老朽化する医療機器の更新を行い、地域の基幹病院としての役割を果たし続けていかなければならない。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。